

令和5年度 公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー 事業計画

はじめに

福岡市の観光・MICEの取組みの方向性を示した「観光・MICE推進プログラム」について、国内外における社会環境の変化にも対応できる持続的な推進に向け、令和5年度から3年間を計画期間とした、実効性のある施策の方向性と取組みが示されたプログラムに改定された。

令和5年度は、本プログラムの方向性に基づき事業を推進するとともに、新型コロナウイルスにより失われた観光・MICE需要の回復に向け、ポストコロナにおける取組みを本格的に稼働する。

観光振興においては、7・8月開催の「世界水泳」をフックに国内外からの観光需要を取り込むため、福岡都市圏及び九州の各自治体・観光協会等と連携し、プロモーションを推進するとともに、福岡型ワーケーションや修学旅行等による周遊観光を推進することで、域内での回遊や消費を促進し地域経済の活性化に貢献する。

また、Meeting Place Fukuoka (MPF) では、MICE開催地として選ばれるため、多様化するMICEニーズに合わせた支援、リアルに行く動機付けとなる取組み、SDGs 視点を取り入れた誘致活動を推進していく。

★：新規 ☆：拡充

1 福岡の魅力づくり

福岡市の食、歴史、文化、祭り、自然などの観光資源を活用した魅力づくりを推進するとともに、来福者のニーズを把握しながら、地域と連携した受入環境の向上に取り組む。

(1) 地域資源を活かした観光振興

文化観光施設やアートをはじめ、地域資源を活かした体験型プログラムの造成、まち歩きの企画・実施、観光情報の発信などを行う。

① まち歩きコースの企画・実施

歴史資源などの活用に加え、文化・芸術といった多様なニーズに応える新たなスポットを開拓し、まち歩きコースの新規企画・開発等を行う。

② 福岡市観光案内ボランティアの運営

観光案内所（天神）や「博多町家」ふるさと館での観光案内等を行う。

③ 観光情報の発信

ア 観光情報サイト「よかなび」で観光スポットやイベント情報などを発信する。

★イ エリア特性やターゲットを踏まえた福岡市の魅力を伝えるコンテンツを制作し
国外向けに情報発信するための観光グローバルサイトを運用。

ウ 「まち歩き」動画の制作・配信や、SNSによる情報発信を行う。

④ 体験型観光の振興

ア 地域・事業者と連携した新たな体験型観光コンテンツの開発及び商品化を行う。

イ 「まゆの館」の運営や、「御城印」の販売促進など福岡城エリアの魅力づくりに取り組む。

(2) 祭りの振興

本市の貴重な観光資源である「博多どんたく港まつり」や「博多祇園山笠」などの祭りや文化的行事の継続的な振興のため運営、支援を行う。

(3) 福岡検定の実施

福岡への愛着を深め、市民のおもてなしの心の醸成を図るため、福岡市、福岡商工会議所との共催により、福岡検定を実施する。

(4) 受入環境の向上

国内外からの来訪者が安全安心かつ快適に過ごせる受入環境の整備に取り組む。

★① 国際スポーツ大会における観光案内等

世界水泳の開催に合わせ、福岡都市圏及び九州の周遊観光を推進するため、臨時観光案内所（博多駅前など）を設置する。

② 観光案内所（天神・博多駅）の管理・運営及び案内機能の強化

デジタルを活用した非対面・非接触によるリモート観光案内を、移動式の観光案内所として、市内イベント等で実施する。

③ ウェルカムサポーターの運営

④ 観光サービス業従事者向け研修の企画・運営

⑤ 観光ガイドブックの発行

2 観光客の誘致・受入

観光関連事業者や地域、関係団体・機関と連携し、国内外からの観光客の誘致を促進する。

★(1) ポストコロナにおける観光関連産業の連携強化

観光関連事業者や賛助会員等のステークホルダーと連携し、観光産業の活性化に向けた推進体制を構築し連携強化を図る。

① 観光関連事業者や賛助会員等をつなぐマッチングイベント等の実施

② 伝統・文化、歴史遺産等の地域資源を活用する観光コンテンツ企画・販売での連携

③ 宿泊事業者と連携し市内宿泊業界を活性化するためのセミナーの実施

★(2) 九州広域連携誘客事業

① 国内向けプロモーション

福岡・大分ディスティネーションキャンペーン（プレキャンペーン）と連動したプロモーション及び、「ツーリズムEXPOジャパン2023」への出展を行う。

② 海外向けプロモーション

「旅行博TIF（台湾）」及び「旅行博TITF（タイ）」への出展を行う。

(3) 修学旅行等による都市圏周遊の推進

都市圏の自治体等と連携し、市内に宿泊する修学旅行等の受入れに取り組むことで、都市圏を含む周遊観光を推進し、観光産業の活性化を図る。

- ① 修学旅行等に係る交通費（貸切バス）の支援
- ② 修学旅行等に対する「体験学習プログラム」への参加費支援
- ★③ 「修学旅行パス」の企画・造成
交通機関の1 Dayパスや施設の入館割引等が一体となったパスを企画・造成する。
- ☆④ 修学旅行プロモーション
専用サイト等による情報発信、モニターツアーや、旅行会社・学校へのセールス活動を実施する。

(4) 福岡型ワーケーション推進事業

本市の魅力であるビジネス環境の良さや、都市機能と自然が近接したコンパクトシティの特徴を活かした「福岡型ワーケーション」を推進し、ワーケーションの新規利用者獲得及び既存顧客の滞在長期化・リピーター化を図る。

- ★①首都圏からの誘客を目的とした航空会社等とのタイアップキャンペーンの実施
- ★②海外デジタルノマドやメディア等を招聘するファムツアーの実施
- ☆③「ワーケーションフレンドリーパス」対象エリア拡大によるリピーター化の推進

(5) 多様な連携

福岡都市圏や県内の団体、九州各都市や広域観光団体等との連携による共同誘致活動などを行う。

- ① 福岡地区観光協議会、福岡県観光連盟、九州観光機構など観光団体等との連携
- ② 姉妹協会等団体との交流連携

3 MICEの誘致・支援

ポストコロナを迎えるにあたり、オンラインやハイブリッドでなく、対面での開催が前提となる、企業主催のM (Meeting) やI (Incentive)、E (Exhibition) の誘致を促進するとともに、市民にわかりやすいシンボリックなC (Convention) を誘致・開催することで、シビックプライドの醸成に繋げていく。

また、MICE誘致におけるキーパーソンを招聘し、新たに開館した施設・ベニュー等を紹介するとともに、世界共通の目標であるSDGsを意識したプログラムなどを体験してもらい、ショーケース/FAMトリップを実施することで「選ばれるMICE都市」を目指す。

(1) ポストコロナMICE誘致強化事業

リードタイムの短いミーティング、インセンティブツアーの誘致活動を強化するとともに、市のプレゼンス向上につながるコンベンション、ビジネス機会の創出につながる展示会・見本市の誘致活動を強化する。

☆① ミーティング、インセンティブツアー等の誘致強化

国内外のMICE見本市・商談会等への出展、SDGs視点を取り入れたMICEショーケースやFAMトリップの実施、外資系ホテルとの共同誘致、関係団体への加盟により、新たな販路を開拓し、営業ネットワークを構築する。

★② シンボリックMICE誘致

福岡市のプレゼンス向上につながる国際会議や、市民や事業者と一体となっておもてなしを行う大型MICEなど、シンボリックMICEの誘致に取り組む。

★③ 欧米プロモーション

★④ 展示会・見本市の誘致

新たな展示施設や都市のアップデートを盛り込んだ誘致用リーフレットを作成し、新規案件の開拓を行う。

(2) ポストコロナMICE支援事業

MICE主催者の多様なニーズに合わせた支援を行う。

① ミーティング、インセンティブツアー開催支援

催行人数の減少に伴う単価の上昇や安全対策等の負担軽減を図るため、市内宿泊を伴うミーティング、インセンティブツアーに対して、安全対策等の費用を助成する。

② 見本市等開催支援

地場企業やMICE関連事業者等へ商談や取引のビジネス機会を創出するため、市内初開催及び拡張開催の見本市等に対して、会場使用料の一部を助成する。

③ コンベンションパス実証

市内周遊を促進し、参加者の満足度を高める取組みとして、コンベンションパスを製作し、活用可能性を実証する。

(3) MPFワンストップ体制の運営

MPFでは、国内外のMICE誘致案件の調査・営業から、開催支援、産業振興のためのビジネスコーディネートまでワンストップ体制で行っており、多様化するMICEニーズに合わせた支援を実施するとともに、誘致ターゲットを明確化し、戦略的な誘致活動を行っていく。

① コンベンションの誘致活動

ア 福岡市内・首都圏等での主催者向けセミナー開催や個別営業

イ MICE主催者等の招聘、国内外キーパーソンへのセールス

② MICE見本市・商談会への参加

国内外のMICE見本市・商談会へ参加する。

③ 地元学術界・産業界とのネットワーキング

市内主要大学でのMICEセミナー開催や、産学官連携によるサイトビジットツアー（産業視察）などを実施する。

④ MICEアンバサダーによる福岡プロモーションや活動支援

⑤ 国際・国内コンベンション開催助成金

⑥ コンベンションサポート事業

MICEに関連する施設や事業者（MPFパートナー・賛助会員）を紹介するなど、主催者に対して支援を行う。

(4) MICE人材育成事業

MICE業界を担う人材の育成を図るため、大学・専門学校、MPFパートナー、賛助会員等と連携し、オンラインセミナーや実地研修などを実施する。

(5) 関係機関・団体との連携

MICE関係機関・団体等との緊密な連携及び関係強化を図ることにより、MICE誘致に係る情報収集や共同誘致活動などを行う。

① MICE関係機関・団体との連携

観光庁、日本政府観光局(JNTO)、日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー(JCCB)、九州・沖縄地区コンベンション推進団体連絡会、日本展示会協会など

② 地元経済団体との連携

福岡地域戦略推進協議会(FDC)、九州経済連合会、福岡商工会議所など

③ 業界のグローバルな団体等への加盟

国際会議協会(ICC A)、ミーティング・プロフェッショナルズ・インターナショナル(MPI)、インセンティブ旅行協会(SITE)、IGLTA(国際ゲイ・レズビアン旅行協会)、国際コンベンション管理協会(PCMA)など

4 情報発信・広報、マーケティング

戦略的な情報発信を行うとともに、観光・MICEに関するトピックなどを情報提供する。

★(1) デジタルマーケティング推進

観光関連事業者のデジタル対応・効果的な情報発信を支援するとともに、デジタル化により得られるデータを分析し、セミナー等を通じた考察を観光関連事業者と共有することで、観光消費の拡大、地域経済の活性化、生産性の向上など、現場レベルの実行組織として観光ビジネスを牽引していく。

(2) 戦略的な情報発信

- ① SNSを活用した海外への情報発信
- ② メディアへの情報提供、取材支援

(3) 広報活動

- ① 財団ホームページによる情報発信
- ② 機関誌「オーシャンズ・フクオカ」の発行(年4回)

5 賛助会員・組織運営

賛助会員交流会の開催、会議・展示会の情報提供など会員の交流機会やサービスを充実させるとともに、新たな会員獲得に向けた取組みを行う。

★(1) 事業推進体制の強化

観光産業による経済活動の裾野は広く、観光・MICE施策を推進していくためには、市民・観光事業者、観光振興関連団体、行政が一体となって積極的に展開していく必要がある。近年では、国において推し進められている「観光地域づくり法人（DMO）」制度によって設立されたDMO団体を中心とした観光地域づくりがスタンダードとなってきている。

当財団においても、組織体制強化の一環として「観光地域づくり法人（DMO）」の登録も視野に入れながら、データに基づく分析・戦略策定、多様なステークホルダーとの連携・調整を図っていく。

(2) 賛助会員交流会の開催

会員同士の交流促進のためPRブースやビジネスマッチングを実施する。

(3) 賛助会員サービスの提供

- ① コンベンションスケジュールの作成、提供
- ② メールマガジンの配信
- ③ 財団のホームページ、機関誌による会員PR・情報発信